



わらびの会 ニュースレター

Vol.1
2025.2

令和六年度 活動報告

病院ボランティア

養成講座・勉強会



地域医療に貢献する病院ボランティア人材育成を目的に、県立南部医療センター・こども医療センターで令和六年七月二十八日、第三四期こども支援病院ボランティア養成講座が開催されました。同講座は県内在住の病院ボランティアに関心のある人・病院ボランティア活動を希望する人を対象に毎年二回実施されています。主なテーマは病院ボランティアについての基本概論の他、感染症対策、病児のサポートやきょうだい児支援についてです。第三四期の参加者は一六名。こども病院における病院ボランティアの役割や

その重要性を学びました。養成講座の受講者からは、「他の参加者の方々やスタッフの方の優しい熱意のなかで自分ができるのか、とハードルの高さは感じていますが実習を経験してみたいと思います」「慎重に丁寧に活動しなければならぬことを確認しました。私にできることがあればと思いました」等、前向きな意見が聞かれました。養成講座修了者は、こども病院でのボランティア実習を経てボランティアとして正式に登録後、実際の活動開始となります。また、十一月三〇日には大阪母子医療センターより河盛久美子氏、藤田紀子氏を迎え、病院ボランティア勉強会を開催しました。受講後には「ボランティア活動の意義を再確認した」「ボランティアはしてあげるではない！一緒に楽しんでやるという言葉が印象に残った。原点に帰って笑顔で頑張りたい」等、様々な感想が寄せられ、とても充実した勉強会となりました。

今年で十三回目を迎えるピアサポートセミナー・初級編は、初回当初から講師として素晴らしいお話をお聞かせ下さった田中千鶴子先生の最終回となりました。ご自身の体験を基に、障がい児とその家族の生活への理解・求められる社会的支援、ピアサポートの必要性など、深遠なテーマを穏やかに力強くお話しくださいました。

また、今年も諏訪先生を始め、難病のこども支援全国ネットワークの本田先生、下村先生、そしてピアサポーターの立花さんにご講義いただきました。

今回のセミナーでは、既に受講済みのピアサポーターさんを対象にイーラーニングで学び直しができるようになりました。以前、わらびの会のピアサポーターを受講したけれど現在はピアサポーター活動に参加していらっしやらない方にぜひご活用いただきたい存じます。わらびの会ホームページよりご利用いただけますので詳細は事務局までお問合せください。ぜひあなたの経験と優しさをピアサポーターとして活かしてみませんか？

ピアサポート セミナー & 勉強会



令和七年一月十九日には、「希少疾患と遺伝カウンセリング」と題しピアサポート勉強会を開催、琉球大学病院の知念安紹先生にご講義いただきました。遺伝子、と聞くと日常生活の中ではめったに出会わない難しいテーマですが、参加したピアサポーターからは「一般の私達では、なかなか聞けない話だったので凄く貴重な時間になりました。当事者自身が選択し、一緒に悩みながら前へ進むというお話も人間らしくとても感銘を受けました。」「家族の子どもの兄弟たちの将来のために、もっと勉強したいです。ピアサポーターとして！」等の感想が聞かれました。





五年ぶりのリアル開催！ 第十二回 合同クリスマス会



十二月八日、コロナ禍を経て約五年ぶりに参加者が一堂に会して楽しめる形での「わらびの会 合同クリスマス会」が開催されました。

数多くのボランティアさん
のご協力のもと、舞台での余
興やレスパイトとなるマッサ
ージ、カフェコーナーの他、
病児・障がい児やきょうだい
児と一緒に大人もこどもも
も楽しめる遊びのコーナー
等、会場にはたくさんの笑顔
が溢れていました。クリスマ
スは、こども達にとって夢い
っぱいの楽しい季節。加えて
ご家族にとってピア（仲間）
と交流できホッと心温まる機
会を…と始まったのが、わら
びの会の合同クリスマス会。
治療や療育でがんばっている
皆さまへのレスパイトとなり
とても嬉しく思います。

専門学校のボランティアさん
による大型ペープサート、聴
覚障害児を持つ親の会さん
によるピアノ演奏や手話ソング
等々。ダンスタイムには思い
がけないパフォーマンスで会
場はさらに大盛り上がり！

そしていよいよサンタさん
の登場です。サンタさんは例
年のごとく、嘉手納基地から
のボランティアさんが担当し
てくださり、目の青い本物の
サンタさんを目の前にしたこ
ども達も大興奮。会場いっぱ
いにあふれるこども達の笑顔
や笑い声に心とまされ、大人
もまた笑顔が輝く一日となり
ました。



あまいるの会

会 長：仲間 久美子
電話番号：090-9492-7026
E-mail：info@amairu.com

・主な活動
ピアサポート、情報共有など

・定期的な集会
不定期。ランチ会など

宮古島で暮らしていて
子の障がいが理由で
生きづらさを感じている方は
ご相談ください

スマイルアップ

沖縄県中部地区

ダウン症を持つ子の親の会

代 表：安室 由美子
電話番号：090-1342-0452
E-mail：a3623tykhyn@icloud.com
Instagram：1-ザ-ネム @smileup.321で検索
※公式LINEもあります。

- ・たくさんの出会いの場所
- ・悩みや喜びを分かち合う場所
- ・情報交換の場所
- ・なんだかここに来るとホッとするような場所

2004年10月にスタートした「スマイルアップ」
参加された方が少しでも笑顔が増えることを願い
つつアットホームと緩さを大切にしている会です
毎月 第三土曜日 AM10:00～12:00
場所 沖縄市福祉文化プラザ2階
参加費 100円

インスタグラムで
定例会の様子なども垣間見ることができます。
お子さんの成長過程での各ステージごとに
出てくる悩みなど
ゆんたくしながら共有しませんか？
気軽にお立ち寄りください。

おきなわ重度障がいを持つ方と
家族の生活を考える会

代 表：玉那覇 仰
E-mail：aogu_tama@yahoo.co.jp
https://www.okinawa-zyudosyougai.com/

昨年度までは「沖縄県自閉症協会」の会長と
いう立場で「わらびの会」とは活動を共に
させていただきましたが、新たな任意団体を立
ち上げ参加することとなりました。

前団体では、自閉スペクトラム症の当事者や
家族が集まり、さまざまな活動を行ってき
ましたが、自閉スペクトラム症には、知的障が
いは無いのですが、生きづらさを感じてい
る方から重度の知的障がいを重複した方など幅
が広く、特に重度の方々の当事者や家族は
綱渡りど表現できるほど危機的な生活を強いら
れている状況にありながら耐える日々を過
ごしています。

この現状は変えていかなければなりません。
私達の団体は、現状を訴え、改善策を提言
し、少しでも社会に理解してもらえるように
頑張っ活動していきたくと考えています。皆
様よろしく願いいたします。

一般社団法人

顔晴れ（かおはれ）会

代 表：金城 敦子
住所：901-2131 浦添市牧港3-37-11
電話番号：080-6483-0347
E-mail：https://kaoharekai.com

私達は2021年に小児がん、AYA世代を支援する
患者会『day the smile family顔晴れ会』として活
動を始め、2024年に小児がんやはじめとする命を
脅かす病気の子ども達の支援をする団体『一般社団
法人 顔晴れ会』として新しくスタートしました。
現在は大切な目標「琉球大学病院の近くにファミリ
ーハウス兼コミュニティハウスを創る」ことを掲げ
ています。私達は実現する為日々活動を顔晴ってお
ります。わらびの会の加盟団体の皆様と共に活動出
来る事、また色々勉強させて頂く事に感謝申しあ
げます。どうぞ宜しくお願い致します。

【活動内容】

- ・ピアサポート活動 ・グリーンケア活動
- ・小児病棟支援
(琉大病院、南部医療センター・こども医療センター)
- ・小児がん周知活動
- ・レモネード（かおはれ）スタンド 他

活動報告



わらびの会笑い包まれ
南風原、5年ぶりクリスマス会
【南風原】病氣や障がいのある子どもとその家族、医師や看護師、専門学生などのボランティア約300人が参加した。ステージでは入院中の子どもに笑いや遊びを届ける「クリニックラウン」（臨床心理士）が登場したり、ダンスなどのパフォーマンスが行われたりした。会場は大きな笑いや温かな拍手に包まれた。（嶋岡すみれ）

琉球新報社 提供

54団体に504万円寄付
イオン琉球「幸せの黄色いレシート」



イオン琉球（南風原町、豊原太郎社長）は11日、2023年度の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」の寄付金504万7700円を、県内のNPO法人やボランティア団体など54団体に贈呈した。購入者が毎月11日のイオン・デーにもう一枚黄色いレシートを専用ボックスに投入すると、イオンがレシート合計金額の1%を各団体に寄付する。01年の開始から

沖縄タイムス社 提供

わらびの会から野原理事が参列



令和6年度 4月～12月までの活動

十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月
16 〜 20日 こども病院ピアサポ活動	11 〜 14日 こども病院ピアサポ活動 30日 病院ボランティア勉強会	21 〜 25日 こども病院ピアサポ活動 10・15日 かりゆし長寿大学「がじゅまるの家」見学 第4回運営委員会	2 〜 6日 こども病院ピアサポ活動	5 〜 8日 こども病院ピアサポ活動 19日 第4回理事会・第3回運営委員会	8 〜 12日 こども病院ピアサポ活動 13日 理事勉強会「わらびの会のこれから」 19日 台北医学大学「がじゅまるの家」見学 27日 第2期こども支援病院ボランティア養成講座	3 〜 7日 こども病院ピアサポ活動 8日 令和6年度 定期総会 17日 第2回運営委員会	13 〜 16日 こども病院ピアサポ活動	22 〜 26日 第1回運営委員会 27日 第1回理事会

賛助会員への入会と

ご寄付のお願い

認定特定非営利活動法人 こども医療支援わらびの会は、病院ボランティアの養成と活動の支援、遠方からの病气や障がいのあることとその家族のための滞在施設 ファミリーハウス「がじゅまるの家」の受託運営やピアサポート事業等を通して、こども医療への支援を行っています。

これらの活動経費は、主に当会の趣旨にご賛同いただいた方々からの会費とご寄付により賄われております。今後も、病气や障がいのあるこどもとその家族への支援活動が継続できるよう、皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

わらびの会は認定特定非営利活動法人なので、

皆さまからのご寄付は寄附金控除の対象となります。

◆賛助会員（当会の会誌、活動報告書等をお送りします）

個人会員：1口 五千元（年間）

団体会員：1口 一万円（年間）

◆ご寄付によるご支援をお願いいたします

郵便振替 □座番01720-5-84825

加入者名：特非 こども医療支援わらびの会



※大変恐れ入りますが、通信欄にご支援の内容（「賛助会費」または「寄付」）をご明記のうえ、振込手数料のご負担をお願いします。

編集後記

令和6年度は、従来の「わらびの会だより」を「アニニアルレポート」（年次会計報告含む）「ニュースレター」（年度途中での活動報告）という形に変えて発行する試みを行いました。より分かりやすく伝わりやすい紙面作りを目指し試行錯誤中です。皆さまからのご意見など、ぜひお聞かせください！

発行人：勝連聖史（わらびの会理事長）
編集：わらびの会 広報担当理事・事務局
発行日：令和七（二〇二五）年 三月一日
印刷：丸正印刷株式会社

SNS

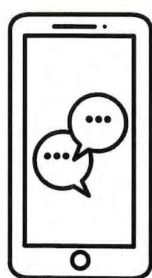
はじめました



Instagram



エックス
（旧ツイッター）



認定NPO法人
こども医療支援 わらびの会

認定特定非営利活動法人 こども医療支援わらびの会

〒901-1105 南風原町字新川272-16 ファミリーハウス「がじゅまるの家」内

TEL&FAX：098-888-6605 E-Mail：info@warabinokai.org <https://www.warabinokai.org>